

小規模企業景気動向調査

[平成30年1月期調査]

～降雪や厳冬により消費が低迷し、全業種で悪化した小規模企業景況～

2018年2月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…降雪や厳冬により消費が低迷し、全業種で悪化した小規模企業景況…◇

1月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、採算DI、資金繰りDIが小幅に悪化し、売上額DIは大幅に悪化した。経営指導員からは、例年を上回る降雪により客足が伸びなかったことに加え、生鮮品が高騰し消費が低迷したこと等により売上悪化を招いたことや、ガソリン・灯油等の燃料費が高値で推移していることから仕入価格が高止まりしており、収益改善が遅れている一方で、自動車や工作機械などの機械・金属加工業は、人手不足の問題を抱えながらも好調を維持しているとの報告があった。

<製造業> ◇…機械・金属は好調を維持する一方、その他の業種が低調であった製造業…◇

製造業の業況DIと売上額DIは先月から一転大幅に悪化し、採算DIと資金繰りDIは小幅に悪化した。工作機械や自動車、機械部品は好調であるが、食料、繊維等その他の業種が振るわず、悪化を示した。経営指導員からは、受注量は一定量確保、あるいは増加しているとのコメントが寄せられている一方で、人手不足や賃金の高騰により、受注量制限をして売上が頭打ちとなっていることや、資金繰りの改善にまでは至っていないとの報告があった。

<建設業> ◇…厳冬や降雪により一部で繁忙を極めるも、深刻な人手不足が利益確保を阻害している建設業…◇

建設業の業況DIは3か月ぶりに大幅に悪化した。売上額DIは先月から10.1ポイント下がり、マイナス4.6となった。採算DI、資金繰りDIは小幅に悪化した。経営指導員からは、降雪や厳冬による除雪作業や水道管破裂の修理などによって売上が増加したところが一部にみられるが、工期の遅れや建築資材の調達遅延があり、利益確保が厳しいとのコメントが寄せられた。また、除雪作業の出動回数が増えたが、その分燃料費がかかるため収益率は低いとの報告があった。加えて、深刻な人手不足がコストアップ要因となり、低収益体質となっているとのコメントも寄せられた。

<小売業> ◇…冬物衣料や暖房家電に動きが出るも、生鮮品の高騰で消費者に買い控えが起きた小売業…◇

小売業の業況DIは先月から一転小幅に悪化するも、他の3業種と比べると悪化幅は小さかった。売上額DIは他3業種と同様に大幅に悪化し、採算DIと資金繰りDIは小幅に悪化した。経営指導員からは、厳冬により、冬物衣料や耐久消費財の中でもストーブやエアコンなどの暖房家電の売上増加がみられたとのコメントがある一方で、食品関係では、天候不順により引き続き青物野菜を中心に値段が高騰しているため、消費者の買い控え起きており、資金繰りと併せて大変厳しいとの報告があった。

<サービス業> ◇…人手不足と燃料費高騰に加え、天候不順が押し下げ要因となったサービス業…◇

サービス業は業況DI、売上額DI、採算DIともに大幅に悪化。資金繰りDIが小幅悪化となった。天候不順で一部のクリーニング業では売上が増加した一方で、燃料費の高騰が採算悪化要因となっているとの報告があった。また、自動車関連サービス業ではスタッドレスタイヤの需要が増えたとの報告があり、運輸業では、仕事量は確保できるが、人手不足と燃料費の上昇が収益圧迫を招き、また、価格改定が出来ず厳しいとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 6.2	▲ 13.6	▲ 7.4	▲ 2.3	▲ 8.5	▲ 6.2	5.5	▲ 4.6	▲ 10.1
採算	▲ 12.6	▲ 16.8	▲ 4.2	▲ 10.8	▲ 14.4	▲ 3.6	▲ 6.7	▲ 10.2	▲ 3.5
資金繰り	▲ 8.4	▲ 11.4	▲ 3.0	▲ 7.1	▲ 9.6	▲ 2.5	▲ 4.0	▲ 8.3	▲ 4.3
業況	▲ 11.0	▲ 15.8	▲ 4.8	▲ 5.8	▲ 12.7	▲ 6.9	▲ 0.4	▲ 5.7	▲ 5.3

業種	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 15.2	▲ 22.0	▲ 6.8	▲ 12.6	▲ 19.3	▲ 6.7
採算	▲ 20.3	▲ 24.5	▲ 4.2	▲ 12.9	▲ 18.0	▲ 5.1
資金繰り	▲ 14.6	▲ 16.7	▲ 2.1	▲ 7.8	▲ 11.3	▲ 3.5
業況	▲ 22.9	▲ 25.1	▲ 2.2	▲ 14.8	▲ 19.9	▲ 5.1

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(1月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・冬期間となりスキー客や湖でのワカサギ釣り等が訪れるようになり宿泊業等の売り上げ上昇。また除雪作業などの受注が多くなり、建設業の売り上げも上がっている。

(福島県北塩原村商工会)

・大きな変化は感じられない。しかしながら、自動車部品製造業は高操業が継続し、個人消費も若干増加してきている。金融機関の貸し出し態度は積極的である。

(岡山県瀬戸内市商工会)

・小規模事業者全般については、財務内容の改善が見られる。地域金融機関の積極的な貸出姿勢により資金繰りで一息ついている事業者も多い。

(滋賀県野洲市商工会)

・金属加工業や建設業でやや業況が上向いている。金属加工業は主に海外へ輸出する製品の部品製造。建設業は福岡都市圏での各種工事関連。

(福岡県筑前町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・どの業界に関しても、採用が難しく人手不足が解消できていない。金融機関に関しては、設備投資等の資金需要のある先には破格の金利を提示しているが、資金繰りの厳しい先には対応も厳しい。

(静岡県新居町商工会)

・季節要因として降雪の影響で、外部より入域者は少なく、内部需要が例年通りのため、全般的に減少する。野菜など仕入単価が高騰している小売業は価格転嫁しにくく、収益にも影響している。受注が偏り人材不足等の課題も見受けられる。

(栃木県那須町商工会)

・全般的に景況に大きな変化は見られない。食料品や燃料等の値上げにより関係業種で仕入金額の増加が見られる。

(新潟県妙高高原商工会)

・当地域の経済状況は依然低調傾向にある。また、当地域ではこれまで都心部のベッドタウンとして発展してきたために、消費者の行動範囲も広い。このために、地域の一般顧客に向けた小売事業者などは減少している。なお、創業者は継続していて比較的女性が多い。一方で、当地域における女性創業者の事業目標は夫の扶養の範囲内が多く比較的小規模化している。このために金融機関での新規貸出も少ない。

(茨城県取手市商工会)

・景気回復の実感はないものの、全般的に人手不足。各業種にて求人あるが補充は進んでいない。また、伴って一定の人件費上昇がみられる。他、数度に渡る大雪の影響で全般的に客足、物流が止まり影響大であった。金融は、低金利が続くも借換が一巡し需要減とを感じる。

(北海道小平町商工会)

・業況が良い製造業は人材不足、受注増加傾向にある建築業灯油の高騰、小売りやサービス業に関しては原料の高騰による利益率低下、悪天候の影響で客足が安定しないなど業種ごとに問題点や課題が明確となってきている。地域全体としての景気回復のためには業種それぞれの課題に合わせた改善対策を実施していかなければならない。

(秋田県由利本荘市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・機械製造業や板金筐体等の製造業は年度末に向けた受注は確保しております。

(山形県南陽市商工会)

・食料品・自動車関連の製造業は、大手受注先をかかえている所は稼働率も高く、業績も安定している。

(兵庫県太子町商工会)

・一部の金属加工業で業況が上向いている。おもに海外のエネルギープラント等で使用される金属部品を大手企業からの下請けとして受注生産している。

(福岡県筑前町商工会)

・食品関係は売上が伸びない中、原材料の高騰に歯止めがかからず苦しい経営環境が続いているが金属関連の製造業では年末からの補修関連の生産が好調なうえ、新規の受注も前年に比べると少しずつではあるが増え始めている。

(千葉県南房総市内房商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・人手不足等により受注量制限で売上が頭打ちとなっている。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・自動車部品関連の製造業は、受注量が増えており人手が足りない状況。ただ利幅がいい仕事ではなく、正規採用は躊躇しているし、採用を希望しても人材が集まらない状況。

(静岡県新居町商工会)

・食料品関連の製造業の売上は好調に推移している。但し、人手不足や賃金の高騰により資金繰りの改善にまでは至っていない。

(沖縄県南城市商工会)

節分用のイワシを製造する水産加工業者は、イワシの漁獲量はあるが、全体にサイズが小さく仕入値が高く、売上・利益とも低調となった。反面、飼料用の事業者はまずまず。

(愛知県豊浜商工会)

・どの業種も好調な兆しはあるものの、年度末が近づくと大手はやや生産を抑える傾向があることから、3月までの受注が下がる可能性が高い。海外向けは依然として好調を維持している。

(福岡県鞍手町商工会)

・大雪の影響で物流が滞っており、労働生産性や工場稼働率が低下することで、売上・採算に悪影響を及ぼしている。また除雪が進まないために、観光業界向けの飲食料品製造業への打撃も大きい。また繊維関係では季節要因による売上の激減、機械・金属においてはオリンピック需要を背景とした仕入単価の上昇なども業況悪化の一因となっている。

(富山県射水市商工会)

・建設関連の製造業は、堅調に推移しているが、人手不足や材料費、燃料費などの上昇により収益は伸びていない。

(香川県さぬき市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・建設業全般で前年を上回る状況が続いている。理由としては一時期に比べ公共工事の件数は落ち着いてきているものの依然として高い水準にあることがあげられる。

(山口県下関市商工会)

・建設業は島外企業の進出や、公共工事も一定量あり、業界的には好景気だといえる。しかし、人手不足の事業所は機会損失が生じているケースもある。

(沖縄県石垣市商工会)

・一般土木関連の建設業は、降雪の影響による除雪関連、設備関連では水道管の破裂による修理業が後を絶たないため、双方にて売上が急上昇。

(山形県上市市商工会)

・塗装関連の建設業は、例年受注等のおちる時期も切れ目なく仕事が入っており、機械等で省力化しにくい業態のため、人を増やしていきたいが、求人するもなかなか集まらない。

(兵庫県太子町商工会)

・例年と比べると降雪量が多く除雪の仕事が増加。その影響で売上も微増しているが、ガソリンの値上がりにより利益が多く出ているわけではない。

(秋田県由利本荘市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・年末年始の公共工事の発注が少なく売上減少。とくに玄海町では維持補修に予算が回り土木を主体としている企業は下請けにて繋いでおり利益率の低下を招いている。

(佐賀県唐津上場商工会)

・新築工事の需要は減少しているが、リフォーム工事の需要は増加しているために、仮設足場を施工する高職人への需要が増加している。しかしながら、職人の高齢化の進展と若年者層の入職が激減しているために、外部事業者を多く活用して低収益体質となっている。

(茨城県取手市商工会)

・天候による工期の遅れもあれば、雪害による受注もあるものの天候が悪い事や、輸送関連が麻痺し資材が届かない等の影響が出てきている。

(富山県富山市北商工会)

・人材不足や悪天候の影響等で、複数現場を抱える事業所において工期遅れが生じている。

(沖縄県うるま市商工会)

・管内での人手不足が深刻になっており下請けの建築板金、建築基礎などの職人が大幅に不足しており、工務店によっては新築工事を受注できない状況も出始めている。

(千葉県南房総市内房商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・衣料関連の小売業は、寒暖差が大きかったため冬物衣料の売上が好調であった。

(新潟県小国町商工会)

・食料小売店においては、南城市の人口が増加傾向にあることや、輸入原材料価格の低下により売上・利益率ともに改善している。

(沖縄県南城市商工会)

・食料品関係の小売業は、全国向けのギフトセットの商品で、市内の業者が連携してセット販売に取り組む予定があり、販路拡大を期待している。耐久消費財関連の小売業は、SNS(インスタグラム)効果で売り上げを伸ばしている。

(福岡県糸島市商工会)

・衣料品関連は前年と比べ厳寒の影響で厚手の衣料品の販売が好調。

また、耐久消費財関連でもストーブ、エアコンなどの暖房家電の売上が前年比で15%増と大きく伸びた。

(千葉県南房総市内房商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・ネット販売の影響が地域の小売店の存在意義を失わせており、とても店舗販売だけでやっていける時代ではなくなったと感じる。

(滋賀県野洲市商工会)

・大雪により、商品が届かない状況が多い。売る商品がない、交通機関、足が遮断される等で店舗まで行くことも不可能。

(富山県富山市北商工会)

・食料品関連の小売業は、天候が不順のために起こる野菜高騰のため、買い控えが起こっている。

(奈良県平群町商工会)

・衣料品小売業：顧客はほぼ固定客のみで、下着などの消耗品を必要なだけ購入する状態。新規顧客の獲得は難しい。仕入は小ロットの発注が多いため送料がかかり、原価率が上昇している。また、在庫も増加傾向にあり資金繰りを圧迫している。建物も30年以上経過しており老朽化が激しいが、修繕する余裕はない。

食料品小売業：米価の値上がりが仕入単価に影響している

(山口県岩国西商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・IT関連サービス業など好調である。また、地域密着や健康など独自の切り口で開業した方で、成功事例がある。サービス業では、老舗よりも新規開業や他地域からのフランチャイズ店の方が人気があるようである。

(滋賀県野洲市商工会)

・天候が悪く洗濯業は好調であるが、一部コインランドリーへの流出もある。宿泊業は大雪の影響により、通勤負担の軽減や事業への影響を軽減するために近隣での宿泊をされる方も多い。ビジネス利用ではあるものの、一般宿泊キャンセル分に充当するなど売り上げはやや増加である。

(富山県富山市北商工会)

・宿泊関連は新年会の需要が前年比に比べのびており好調である。自動車関連も降雪を見越してスタッドレスタイヤの需要が増えている。

(千葉県南房総市内房商工会)

・清掃関連のサービス業は、仕事が忙しく発注があっても、作業するまでに数ヶ月先にならないと作業ができない状態

(兵庫県太子町商工会)

・個人消費は持ち直し傾向にあるが、売上改善にはつながっておらず前年維持を保持するのがやっとである。飲食業では、新年会シーズンに入ったこともあり前年同期の売上に比べて上回る場所が多みられた。

(兵庫県川西市商工会)

・宿泊業については、観光や大型公共工事関連の宿泊が増えており、売上は増加している事業所が多くなってい

(島根県石中央商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・理美容関連のサービス業では、大きな変化はないものの、例年と比べると来店ペースの減少や顧客の減少なども若干見られ、収益が減少している企業も見られる。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・旅館関連のサービス業は、新年会が少なかったことと雪による悪天候が重なり、売上は前年度比40%の減となった。

洗濯関連のサービス業は、燃料費の高騰により、採算が悪化傾向にある。

(岡山県作州津山商工会)

・旅館業：1月は仕出しの需要が高かったが、野菜の価格が上昇しており採算は悪化している

洗濯業：石油系の原料が値上がりしており、天候不順による客足の減少も伴って厳しい状況が続いている

(山口県岩国西商工会)

・運送業は、順調であるが、人手不足と燃料費の上昇で収益を圧迫しているが価格改正も出来ず厳しい。飲食業は、材料費の高騰や寒波で客数が減少。また、新年会も減少している。

(香川県さぬき市商工会)

・旅館…雪の影響で当日キャンセルも出たが、連泊となるケースもあり売上全体に大きな変動はなかった。インターネットからの申し込み割合が増加している。

洗濯サービス業…売上はほぼ横ばいだが灯油価格の高騰により例年以上に経費がかかり採算の悪化が不安要素である。

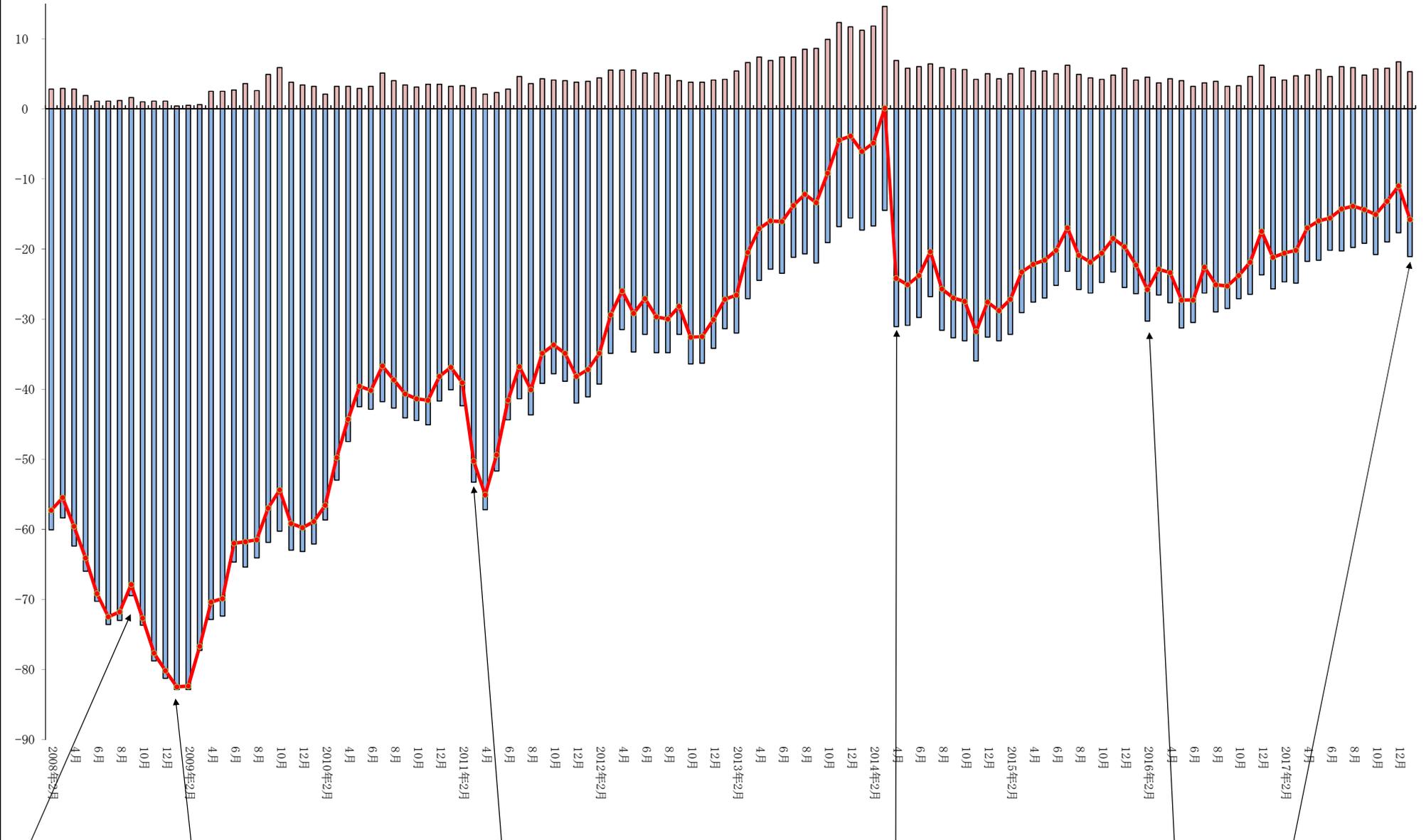
理・美容…新規客獲得が厳しい上に悪天候による顧客来店の減少も重なり、売上が減少。人件費高騰により新規スタッフ採用が出来ない状況である。

(秋田県由利本荘市商工会)

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

18年/1月
-15.8